

## 中間経過報告

中間経過報告として、「運動の経過報告」を金子事務局長、「付加価値の『WIN-WIN最適循環運動』について」を高田業種政策局局长、「2018年度 税制改正に向けた取り組み報告」を小池政策局局长、「2017

年度 特定（産業別）最低賃金の取り組み結果」を森田組織局局长が行った。そして「中間会計報告」を川崎企画総務局局长が報告、寺田会計監査により監査報告が行われ、いずれの事項も承認された。



金子 事務局長



高田 業種政策局 局長



小池 政策局 局長



森田 組織局 局長



川崎 企画総務局 局長



寺田 会計監査

## 議事

### 第1号議案

### 2018年総合生活改善の取り組み方針(案)

第1号議案「2018年総合生活改善の取り組み方針(案)」について、中川副事務局長より提案し、桑原車体・部品部会長、鶴岡販売部会長、郡司輸送部会長、八角一般部会長、久重メーカー部会長の各部会長より発言があり、方針案は全会一致で採択された。



桑原 車体・部品部会長



鶴岡 販売部会長



郡司 輸送部会長



八角 一般部会長



久重 メーカー部会長



### 質問・意見 部品労連 竹垣 中央委員

将来の競争力確保に向けた「人への投資」、産業の持続的成長の前提となる「人材の確保」の観点から、格差是正や底上げに資するものとして触れられているが、部品企業労使の近年の取り組みでは、経営環境の厳しさから賃金改善分を獲得できておらず、人材流出の一因となっている。人材確保や流出防止への危機感を賃金実態から強く意識することで、総合生活改善における真の意味での構造転換を強く推し進めるためにも、部品労連では、労連全体での3,000円を超えた要求基準の設定を、明日の中央委員会での確認としている。

「WIN-WIN最適循環運動」の産業全体の生産性向上という観点も励みとしながら、労使で、組合員に現在

と将来に向けた責任ある回答を求めていく。

今次総合生活改善の取り組み意義の三位一体の取り組みについて、具体事例等があれば、お伺いしたい。

### 本部答弁 中川 副事務局長

部品労連の3,000円を超えた要求基準案の策定に当たっては、現状への危機感をもとに、相当な議論があったものと思うが、今次方針案の「以上」という部分に込めた思いを具現化されたものであり、仲間の力となるものと受け止める。心より敬意を表したい。

三位一体の取り組みの具体例について申し上げると、労働諸条件では、各単組にて賃金の根元からの高さを地域、業種の中で比較し、改善への道筋を労使で握っていくこと。働き方では、人材不足の中、どのように生産性を高めつつ働き甲斐、働きやすさを追求していくかを、今回を起点に労使が真摯に論議していくこと。付加価値の最適循環では、バリューチェーン全体が適正に取引し、自動車産業全体で付加価値を高めていく活動に労使が積極的に参画していくこと。

これらの活動について、自動車総連としてもバックアップしていく。将来不安の払拭、日本経済の自律的成長につなげられるよう、ご尽力をお願いしたい。



### 第2号議案

### 2018年度 特定（産業別）最低賃金の取り組み方針(案)



第2号議案「2018年度 特定（産業別）最低賃金の取り組み方針(案)」を吉清労働政策局（労働条件担当）局長が提案し、全会一致で採択された。

吉清 労働政策局(労働条件担当) 局長